

商品券型汎用給付システム導入事業に係るプロポーザル 審査基準

評価方法：提案書の内容を評価する。評価の採点は、大項目1から7までは次に掲げる基準に照らし合わせて行う。

- 0:提案書に記述がない。
- 1:提案書に記述があるが、仕様を理解できない、又は仕様にそぐわない提案内容である。
- 2:提案書に記述があるが、本市にとって有益な提案内容でない。
- 3:提案書に記述があり、仕様書に準じた一般的な提案内容である。
- 4:提案書に記述があり、本市にとって有益な提案内容である。
- 5:提案書に記述があり、本市にとって非常に有益な提案内容である。

大項目	中項目	評価内容	評価 係数	配点
1 基本的な考え方等	1 目標・ビジョン	1 市民への裨益効果や地域経済の活性化等の波及効果について十分な言及があり、本事業に対しての目標・ビジョンが募集要項に掲げる事業目的に則した内容となっているか。	2	10
	2 実施体制	1 プロジェクト体制の全体構成や関係法人について記載があり、配置される人員の数や経験がプロジェクトを実施するうえで不足のない体制であるか。	1	5
2 提案システムの概要等	1 サービス概要	1 提案された商品券型汎用給付システムの概要・特徴が明記され、募集要項に定める事業目的に十分寄与するサービスとなっているか。	2	10
	2 機能等の概要	1 サービス全体として、募集要項に掲げる事業目的を達成する上で、必要な機能要件及び非機能要件を満たしているか。また、その内容が優れているか。	2	10
	3 想定全体構成	1 提案する商品券型汎用給付システムの全体構成について、機器やネットワーク構成、ライセンス体系等が図等を用いて分かりやすく、網羅的に示されており、その内容が拡張性・汎用性・持続可能性などの観点から今後運用していく上で十分に優れているか。	1	5
	4 導入実績	1 他団体において、同一システム下で複数の給付事業を扱った事例があるなど、汎用的な給付システムとして採用するに相応しい履行実績を有しているか。	1	5
3 機能要件	1 基本要件	1 仕様書に示す要件（動作環境）への対応が詳細に記述され、庁内のさまざまな給付事業で利用することとなったとしても、運用に耐えられる環境で構築されているか。	2	10
		2 仕様書に示す要件（UI/UX）への対応が詳細に記述され、どの年代の利用者にとっても、直感的で使いやすいと思われるような操作性を有しているか。また、様々な属性の利用者に配慮された構成になっているか。	3	15
	2 xIDアプリとの連携	1 仕様書に示す要件（本人確認）への対応が詳細に記述され、オンライン上の本人確認手法として、確実な本人特定ができ、かつ、安定的に利用できる内容となっているか。また、利用者及び管理者双方にとって負担の軽減に配慮された仕組みとなっているか。	1	5
		2 仕様書に示す要件（市民ポータルとの連携）への対応が詳細に記述され、利用者が利便性高く、ストレスなく利用できる構成となっているか。	1	5
	3 利用者機能	1 仕様書に示す要件（アカウントの発行等）への対応が詳細に記述され、今後、さまざまな給付事業において、安定的に利用していくために、アカウントの管理体系が利用者・管理者の双方にとって、十分かつ分かりやすい内容となっているか。	1	5
		2 仕様書に示す要件（申込機能）への対応が詳細に記述され、申込時により簡便に本人確認や必要事項の入力が行える等、利用者の利便性に配慮された仕組みとなっているか。	1	5
		3 仕様書に示す要件（チャージ機能）への対応が詳細に記述され、多彩な入金手段に対応できるなど幅広い利用シーンに対応でき、かつ、利用者の利便性に配慮された仕組みとなっているか。	1	5
		4 仕様書に示す要件（残高の利用）への対応が詳細に記述され、利用者及び参加店舗の両方にとって、簡便かつ利用しやすい仕組みとなっているか。	2	10
	4 管理者機能	1 仕様書に示す要件（権限管理）への対応が詳細に記述され、庁内のさまざまな給付事業で活用された場合でも、安定的かつ柔軟な運用が行える権限管理体系となっているか。	3	15
		2 仕様書に示す要件（申込機能：管理者設定）への対応が詳細に記述され、バリデーションの設定できるなど管理者の運用負担に十分に配慮され、かつ、庁内のさまざまな給付事業で利用できるような十分な汎用性を有しているか。	1	5
		3 仕様書に示す要件（申込データの重複確認）への対応が詳細に記述され、確実に重複申込を防ぐことができ、かつ、その仕組みが管理者の運用負担に十分に配慮された仕組みとなっているか。	2	10
		4 仕様書に示す要件（抽選機能）への対応が詳細に記述され、管理者の運用負担に十分に配慮され、かつ、庁内のさまざまな給付事業で利用できるような十分な汎用性を有しているか。また、その仕組みは利用者にととの公平性が確保されたものになっているか。	2	10
		5 仕様書に示す要件（チャージ機能：管理者設定）への対応が詳細に記述され、管理者の運用負担に十分に配慮され、かつ、庁内のさまざまな給付事業で利用できるような十分な汎用性を有しているか。また、運用コストに十分配慮された仕組みとなっているか。	1	5
		6 仕様書に示す要件（残高の利用：管理者設定）への対応が詳細に記述され、管理者の運用負担に十分に配慮され、かつ、庁内のさまざまな給付事業で利用できるような十分な汎用性を有しているか。また、給付事業ごとに利用先を柔軟に設定できるなど、より効果的に給付事業の目的を達成できる仕組みであるか。	1	5
		7 仕様書に示す要件（集計機能）への対応が詳細に記述され、進捗状況等が容易に把握できる仕組みとなっているか。また、今後サービス改善を検討する上で、市民の消費行動を分析すること等が容易な仕組みとなっているか。また、分析するにあたって十分なデータを有しているか。	2	10
	5 参加店舗への対応	1 仕様書に示す要件（参加希望店舗の受付機能）への対応が詳細に記述され、市内の各店舗が参画しやすいよう配慮された仕組みとなっているか。また、管理者及び参加店舗双方の運用負担に十分に配慮されているか。	2	10
		2 仕様書に示す要件（審査機能）への対応が詳細に記述され、管理者の運用負担に十分に配慮され、かつ、庁内のさまざまな給付事業で利用できるような十分な汎用性を有しているか。	2	10
		3 仕様書に示す要件（参加店舗への精算機能）への対応が詳細に記述され、管理者及び参加店舗双方の運用負担に十分に配慮された仕組みとなっているか。また、精算が確実に行える内容となっているか。	2	10
	6 セキュリティ	1 仕様書に示す要件（基本要件）への対応が詳細に記述され、本市が要求するセキュリティ水準を満たしているか。	1	5
		2 仕様書に示す要件（不正利用防止）への対応が詳細に記述され、不正利用を十分に想定され、それに対処できるだけの対策が講じられているか。	1	5
		3 仕様書に示す要件（暗号化）への対応が詳細に記述され、個人情報保護や情報セキュリティ等の観点から、優れた内容となっているか。	1	5
4 スケジュール	1 全体スケジュール	1 全体スケジュールが詳細に記述され、事業の円滑な推進に寄与する内容となっているか。	1	5
5 運用・保守等	1 運用・保守体制	1 運用・保守体制が詳細に記述され、サービスを安定して運用するために優れた体制となっているか。	1	5
	2 運用・保守の実施内容	1 仕様書に示す要件（運用・保守実施内容）について詳細に記述され、サービスを安定して運用するために優れた内容となっているか。	2	10
	3 運営管理業務受託者との連携及び調整	1 運営管理業務を外部事業者へ委託する場合に、十分に対応できるだけの連携体制となっているか。	1	5
6 問い合わせ対応	1 問い合わせ対応	1 仕様書に示す要件（問い合わせ対応）への対応が詳細に記述され、優れた内容となっているか。	1	5
7 追加提案	1 機能要件	1 機能要件（基本要件）について、追加提案が明確に記述され、優れた内容となっているか。	1	5
		2 機能要件（xIDアプリとの連携）について、追加提案が明確に記述され、優れた内容となっているか。	1	5
		3 機能要件（利用者機能）について、追加提案が明確に記述され、優れた内容となっているか。	1	5
		4 機能要件（管理者機能）について、追加提案が明確に記述され、優れた内容となっているか。	1	5
		5 機能要件（参加店舗への対応）について、追加提案が明確に記述され、優れた内容となっているか。	1	5
		6 機能要件（セキュリティ）について、追加提案が明確に記述され、優れた内容となっているか。	1	5
	2 運用・保守等	1 運用・保守等について、追加提案が明確に記述され、優れた内容となっているか。	1	5
	3 問い合わせ対応	1 問い合わせ対応について、追加提案が明確に記述され、優れた内容となっているか。	1	5
	4 システムの利便性	1 仕様書に示す要件（システムの利便性）への対応が詳細に記述され、優れた内容となっているか。また、利用者において給付された金額等が最大限に活用されるような工夫や機能等を有しているか。	2	10
	5 システムの汎用性	1 仕様書に示す要件（システムの汎用性）への対応が詳細に記述され、優れた内容となっているか。また、地域通貨や地域ポイント等の制度の枠組みを超えて運用できるなど、提案された事項が庁内のあらゆる給付事業において共通して利用できるように汎用性を十分に有しているか。 また、将来的に広域展開した場合にも運用に耐えうるだけの汎用性を有しているか。	2	10
	6 事務負担及びそれに係る経費の極小化	1 仕様書に示す要件（事務負担及びそれに係る経費の極小化）への対応が詳細に記述され、優れた内容となっているか。また、庁内のさまざまな給付事業で活用した場合に、市全体として運用負担が十分に抑えられるか。	1	5
	7 手数料や利用料等の費用負担に関する考え方	1 仕様書に示す要件（手数料や利用料等の費用負担に関する考え方）への対応が詳細に記述され、優れた内容となっているか。 また、庁内のさまざまな給付事業で活用した場合に、市全体としてコストが十分に抑えられるか。	1	5
	8 データ連携基盤との接続等	1 仕様書に示す要件（データ連携基盤との接続等）への対応が詳細に記述され、優れた内容となっているか。 また、提案されたユースケースは市民にとって、高付加価値なサービスとなっているか。	1	5
	9 その他、追加提案	1 上記に示す各項目以外の事項で、追加提案その他アピールする点があった場合に、その内容が詳細に記述され、本市にとって有益な内容となっているか	1	5
評価点合計（a）			64	320